

——— みどり豊かな潤いのある環境づくりを目指して ———

造園 いばらき

題字：橋本 昌 茨城県知事



弘道館のシンボルのひとつになっている「黒松」をPRしようと初めて行われた「雪吊り」は、観光客からも好評。来年も続けられる予定だ

おもな内容

茨城の資産を守り生み出す造園業 茨造協広報委員長 村上正人 ……	2
特集・景観を演出する街路樹 専門家による計画的管理が不可欠 ……	3
改めて注目される「造園基幹技能者」の背景 各種資格制度が拡充 ……	7
賀詞交歓会開催 新年の出発祝う 橋本昌知事ら多数がご来賓 ……	8
造園業・生き残りのヒントを学ぶ 賀来宏和氏迎え講演会を開催 ……	10
社会還元事業で剪定と管理指導 「青丘園」「ドルフィン」で実施 ……	11
環境教育で「腐葉土づくり」環境委員会学校での堆肥所設置に協力 ……	12

Vol. 31

2007年(平成19年)
3月31日発行



社団法人 茨城県造園建設業協会

〒310-0804 水戸市白梅2-4-6 Tel. 029-226-5691 Fax. 029-226-5692

E-mail ibazouky@topaz.ocn.ne.jp URL <http://www.ibarakiken.or.jp/ibazoukyo/>

ロケ地・観光拠点など、脚光浴びる 茨城の資産を守り生み出す造園業

(社)茨城県造園建設業協会広報委員長 村上 正人

茨城県広報広聴課が発行する小冊子「フィルムの中の茨城」に、[ロケ地に選ばれたこの街。この風景]として、映画監督の小泉堯史さんや俳優の大地康雄さんが、茨城への想いを寄せている。

神様がとっておいてくれた場所

小泉さんは、水戸市生まれで、知り合いが大勢いるから照れくさいと、まだ茨城をロケ地にした作品はないものの、茨城は海や山があり、絵のバリエーションが豊富で、東京から近い割には自然が多く、昔ながらの風景が残っているのが最大の魅力で、いまやアスファルトの道ばかりで、「土」の道路も探るのが大変などと話され、いつか「茨城が舞台の映画を撮れたらいい」、人間と命を育む自然を大切に撮りたいとインタビューに答えている。

また、大地康雄さんは、企画、脚本、主演、製作総指揮と4役をこなし、13年の歳月を要し、映画「恋するトマト」を2005年に完成させた。ロケ地となったのは、背後に名峰筑波山があり、青々とした田んぼの先に続く霞ヶ浦周辺の田園地帯・小津地区。「神様がこの場所をとっておいてくれたんじゃないかと思うくらい、ぴったりでした」という。そのほか、ロケには袋田の滝が、主人公のプロポーズシーンで使われている。インタビューではそのほか、地元の常陸秋そば、焼酎「渡船」を薦め、豊かな自然と旧き良き日本の心が残る場所。第二の故郷として大切にしていきたい、と語っている。

歴史映画から、現代ドラマまで

そのほか、小冊子には「茨城ロケ地Map」も掲載され、水戸市の「蟬しぐれ」「県庁の星」「半落ち」「日本沈没」、那珂市の「いま、会いにゆきます」「大河ドラマ・武蔵」、石岡市の「逃亡者」、下妻市の「下妻物語」、坂東市の「ALWAYS 三丁目の夕日」、笠間市の「武士の一分」など、平成18年3月までの3年半の間に

茨城県内で撮影された614作品の一部を紹介。さらに、筑西市「HAZAN」、常陸市「座頭市」については詳細が紹介されており、茨城県内で数多くの作品が撮影され、国内はもとより、海外で上映された作品も数多く、素晴らしい作品の中で、世界中に茨城の風景が映し出されていることを考えると、感動すら覚える。

こうした中、県内オールロケで今年公開された「夜のピクニック」では5000人のエキストラも参加。ヒロインの女優・多部未華子さんは、「2007都市緑化月間」のポスターにも起用され活躍中。また、10月28日には、「夜のピクニック」ロケ地を含む「秋のワンデープラン in いばらき」が開催され、10代から70代までの参加者が秋の一日を満喫。プランには、首都圏などから募集人員の2倍近くの応募が寄せられ、観光立国を担う観光資源の一つとしても“ロケ地”の活用が期待されている。

人気の秘密は“人”その人を育む“環境”

監督方は、ロケ地の風景もさることながら、“人”がポイントと口を揃える。エキストラなどの協力だけではなく、木々の芽吹きや天候、どこからの眺めが美しいかなどなど…地元の人が持つ情報に助けられるからだ。景観だけでなく、茨城の人柄もロケ地としての人気を支える財産なのだ。そして、これは観光地としての財産でもある。

大手旅行会社の代表が、最終的なたびの印象は“その土地で出会った人”と語っている。茨城はこの“人”にも恵まれていることを嬉しく思う。また、人は環境に育まれる。豊かな緑と水に囲まれた環境にあるからこそ、人は豊かな心を保つことができるのだと思う。この人と景観ともに、ロケ地として広く認められている茨城。この自然や景観は私たちが携わる分野でもある。これからもこの茨城の“資産”を保全し、さらにより豊かな自然と人々であるように、新たなまち、景観の創出に取り組んでいきたい。



電柱のように切り詰められた街路樹（写真提供：（社）日本造園建設業協会）

特集 美しい地域街並み 景観を演出する街路樹を考える 専門家による計画的な管理が不可欠

美しい国づくり、品格のある都市づくりがさまざまな方面で語られ、その取り組みが進められようとしている中、都市の顔となり、街並みを形成する街路樹のあり方に関心が寄せられている。

日本の街路樹の歴史は古く、街道に実のなる木を植え、旅人の道標とともに食にも役立てられたといわれ、その後、神社仏閣への荘厳をかもし出す並木や、護岸強化のための堤に植えられた樹木などが、歴史的な並木として現在も多くの人に親しまれているほか、近代では火除け、近年の街路樹では公害対策にはじまり、景観形成や歩道の日陰の確保などから、道路沿いに樹木を植えることが一般的になってきた。

街路樹は“生きている”

こうした街路樹整備の一般化は、街路樹が道路付属物として取り扱われていることに示されるように、街路樹が生きものであることを踏まえた十分な検討を

行わないままでの植栽や管理が行き届かない街路樹も生み出したといえる。その土地の土壌や気候、交通量、周囲の空間などが十分に検討されていない場合は、その道路空間に対して、大き過ぎたり、小さ過ぎたり、樹木の周囲に余裕があっても、電線によって上部空間に余裕がないなど、街路樹の生育においては、厳しい状況が数多くみられている。

また、管理においても、街路樹の多くは、歩道に設けられ、わずかな地表面しかない小さな植根に植えられることが多く、水分の確保や根の伸張も困難でありながら、費用などの面から、剪定作業などが十分になされず、樹勢の衰えやこれに伴う腐朽、さらに根で十分に支持できないことによる倒木など、美しい街並みを形成するどころか、大きな事故を引き起こしかねない深刻な状況を生んでいる。

街路樹は、特殊な環境に植えられたものであり、剪定などの適切な育生管理が行われてはじめて、良好な

景観を形成するものであることを、再認識する時期に来たと思われる。



茨城県で行われた認定試験の模様

欠かせない“育生管理”

良好な街路樹とは、その地域の景観に調和し、親しまれる豊かな緑であり、そのため、十分な枝張りが望まれるが、一時期もてはやされた“伸び伸び街路樹”と呼ばれる“無剪定”で管理することとは異なる。

都心部の街路樹では特に、落ち葉などの問題から、強剪定により、枝の量が極端に少ない街路樹も多くみられるが、大切なのは、1本1本の樹木、列状に並んだ樹木、そして周囲のバランスといった全体の調和であり、落ち葉の問題を含め、こうした良好な街路樹への理解が欠かせず、今後、育生管理費用も含め、広く理解を求めていく活動も重要になってくる。

一方、良好な街路樹への理解だけでなく、適切に育生管理を行うための専門技術も欠かせない。こうした専門技術は、茨造協が担うものであり、会員各社、協会での日頃の指導、研修などにより技術の向上を図るほか、(社)日本造園建設業協会の「街路樹剪定士」の資格取得などに取り組み、一定技術の定量的な評価により、行政をはじめとする発注者の方々が、評価をし



植物も熱帯植物が豊富で、暑さのために日陰も設けられている



剪定前



剪定作業中



剪定後

にくい専門技術を導入しやすいものとするため、対応を進めている。

こうしたことから、今年2月に行われた(社)日本造園建設業協会茨城県支部による「街路樹剪定士認定試験」に多数の会員が受験。22日には造園会館で学科試験を実施。23日には、つくば市のご協力により、万博記念公園前の市道を「イチヨウの剪定」、松代付近の市道を「トウカエデの剪定」の実地試験場として、利用させていただき、無事2日間の試験が終了した。

試験は、すでに多くの実績のある23名が受験し、22名が合格となり、「街路樹剪定士」の技術を広く普及するためにも、これまで以上の活躍が期待される。

“管理目標”の共有が不可欠

街路樹の育生管理の重要性を示してきたが、良好な街路樹を育むためには、事前の計画が欠かせない。今後整備される街路樹に当たっては、地域住民の方々はじめ、発注者、管理者、そして専門家による共通認識を経た上での整備が望まれ、そうした機会においては、協会としても積極的に協力していく方針だ。

しかし、すでに整備済みの街路樹については、計画段階に戻って、良好な街路づくりを検討するわけにはいかない。

『街路樹剪定ハンドブック』（(社)日本造園建設業協会発行）に、詳細が述べられているが、こうした良好な街路樹とするための方向性を見出す考え方に「管

理目標樹形」があり、空間条件や樹種の適性、住民の方々の要望を検討し、当該道路における望ましい樹形を「管理目標樹形」として設定。具体的な樹形や仕立て方、生長に応じた剪定、枝葉密度に応じた剪定を実施する剪定方針の策定が示されている。

さらに、大きくなり過ぎた街路樹や樹形が極端に乱れた街路樹においては、通常の剪定で対応できないため、“樹形の再生”を行う場合もあり、こうした際には、3年から5年以上を見越した計画的な剪定が必要のため、一般競争入札や単年度発注など、計画的な剪定を行う妨げとなる制度の改善が必要。また、本来的には、樹木は数年先を見越した剪定が基本であり、単年度ではなく、複数年にわたっての事情を知る者の作業が、もっとも効率的で、質の高い育生管理になる。

樹木は、生きものであり、時には植え替えなどの必要性も出てくる。自然保護、樹木への愛着から反対などの声上がる場合も多く、逆に、落ち葉問題では、無残な強剪定を求める隣接住民もおられる。

景観、都市の顔、美しい街並みは、個人のものではなく、住人、利用する人、さらには将来に引き継ぐ財産でもある。私たち専門家が持てる知識と技術、これまでの経験を生かすには、関係者の理解と共通の認識が不可欠。良好な街路樹への理解を深め、美しい国づくり、地域の景観づくりに取り組みたい。

「街路樹剪定士」の概要と資格取得方法

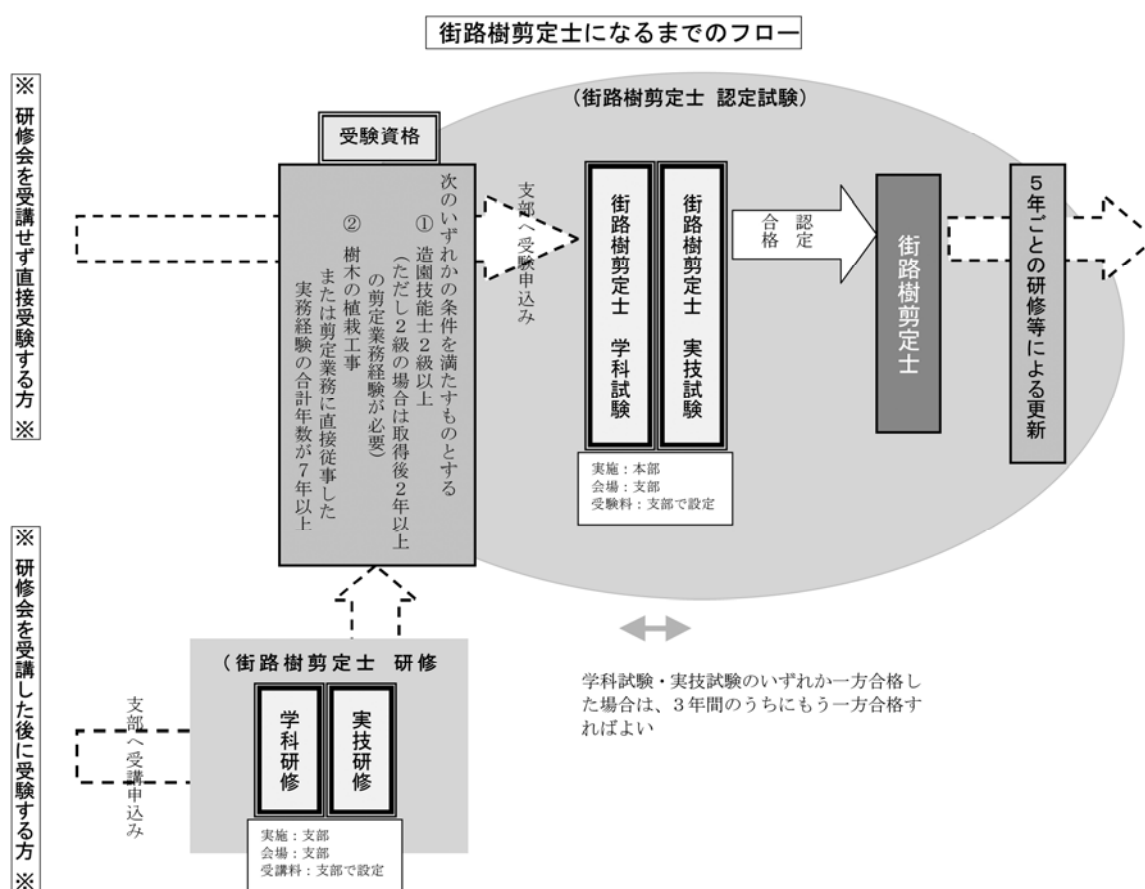
「街路樹剪定士」は(社)日本造園建設業協会が1999年に剪定基準を明確にし、技術力の向上を図るために発足させた認定制度。樹木の生理・生態や街路樹に関する専門知識、伝統的な職人芸ともいえる技能を併せ持ったスペシャリストとして、街路樹の美観を維持し、機能・効用を最大限に発揮させるために必要な能力を備えたものとして、学科・実地試験を経て認定される。

受験資格は、「造園技能士2級以上」(2級の場合、取得後2年以上の剪定業務経験)、「植栽工事、剪定業務に直接従事した実務経験7年以上」のいずれかを満たす者で、試験は、1時間・20問程度の学科と実技試験が日造協47都道府県各支部で実施される。

また、「街路樹剪定士」取得に向けた研修会も各都道府県支部で実施されており、受講資格は不問と、広く行政関係者、一般からの応募も受け付けており、総論から、街路樹に関する基本的事項、剪定、病害虫、植栽基盤整備、安全衛生管理、剪定のケーススタディなどの学科研修、剪定や安全衛生などの実技研修が3日間の日程で開催されている。そのほか、研修会のテキストにもなっている『街路樹剪定ハンドブック～美しい街路樹づくりに向けて～』(A4判、151頁)も同協会から頒布されており、街路樹に関する基本的事項から、安全衛生管理までを書籍で学ぶことができる。

「街路樹剪定士」は、一部の発注機関で、入札参加条件や特記事項に盛り込まれはじめており、今後更なる普及が期待されている。

詳細は、(社)日本造園建設業協会 (☎03-3263-3039、URL: <http://jalco.or.jp/sentei/index.html>)



街路樹剪定士認定制度の流れ

改めて注目される「造園基幹技能者」の背景 各種資格制度が拡充

知識や技術、経験などの客観的・計量的評価の進展に伴い、各種資格制度の拡充が進んでいる。

本号で紹介した「街路樹剪定士」もそのひとつだが、経営事項審査で 09 年度からの評点加算が検討されるなど、「造園基幹技能者」への関心が高まっている。

基幹技能者は、施工現場の中心的役割を担う者として、平成 7 年 4 月の「建設産業政策大綱」で、その確保・育成が提言され、平成 8 年 7 月に具体的な取り組みに対する基本方針が策定された。

今後、経営事項審査への加点も

こうした中、(社)日本造園建設業協会と(社)日本造園組合連合会は、平成 10 年度から「造園基幹技能者認定制度」をスタートさせ、多くの工種に精通した幅広い知識、経験、技能、美的センス、施工現場の総合的な管理能力を持つ造園技能者を「造園基幹技能者」として認定。昨年度までに 3,484 名を認定している。

制度発足以来、継続して行われてきた制度が改めて注目されたのは、平成 15 年に国土交通省が、主任技術者の関連資格として施工体制台帳への資格欄に記載を認めたのをはじめ、公的評価に向けて、国土交通省と(財)建設業振興基金が「基幹技能者制度推進協議会」で、①経営事項審査での評価点数の加算②施工体制の点検における主任技術者資格への活用③総合評価方式での評価——に活用する動きが具体化してきたため。

経審への加点には、公平な受験機会の確保（加入団体の不問）や試験問題、合格基準の事後公表、試験事務規定の整備などの条件整備が求められているものの日造協と造園連では、こうした体制整備を急ぎ進めており、条件整備が整うのはそう先のことなく、一般競争入札の本格的な導入とともに進められる総合評価においても基幹技能士が評価されとなれば、経審と総合評価での両方で、資格取得者が評価されることとなり、入札のチャンス拡大に影響してくる。

すでに、平成 18 年度から日造協、造園連の会員以外も受験可能となり、「造園基幹技能者」の認定に必要な「造園基幹技能者認定研修会」の受講資格は、1 級造園技能士で、実務経験 10 年以上（指導経験 1 年以

上）の者は誰でも受講可能となっている（受験料：日造協・造園連会員 38000 円、その他 48000 円）。

なお、平成 18 年度の講習会は、昨年 11 月から 3 月初旬まで、全国 8 会場で実施。造園工事業における基幹技能者の役割をはじめ、設計図書に関する知識の再確認、出来上りの点検、OJT 指導、ビオトープや特殊地の緑化方法など新技術への理解、安全管理など、8 項目にわたるカリキュラムが行われた。

また、これまで造園工事に関しては、1 級造園施工管理技士が資格要件となり、常駐化などが仕様書に記載されることがあったが、平成 14 年度に鳥取県、平成 15 年に和歌山県、平成 18 年度に鹿児島県で、それぞれ石組みや植栽など、一部の工事で技能士の常駐制度が導入され、佐賀県においては、経審と入札参加資格評定でも技能士について、上限を 30 点に 1 級 5 点、2 級 2 点の加算が行われており、造園施工管理技士をはじめ、技術者・技能者に対して高い評価が行われ、両資格が有効。経審・入札評定と合わせると、足し算ではなく、掛け算的な評価になってきたといえる。

時代の流れへの順応も肝要

伝統的な造園技術は、定量的な評価には馴染まない面も多い。さらに、多工種、少工事の造園は、作業内容ごとに、技術・技能、経験や知識に大きな差があり、屋上・壁面緑化などの新技術、新たな樹種や多様な園芸草花、地域における特殊性などを考えても、とても数値で適切な評価が行われるとは言えない。

しかし、公共工事の一般競争入札をはじめとする企業評価、技術・技能者評価は、こうした数値的評価が社会的な流れになってきており、造園 CPD などの継続教育も CPD 単位として数値化、評価されている。

造園事業者としては、こうした社会の動きに的確に順応し、適切な評価を得ていくのが不可欠であり、合わせて、より効率的で質の高い豊かな緑を保全・創出するために、単なる一般競争入札、単年度契約では、発揮しきれない生きものを扱う造園の特殊性、地域や風土・文化に根ざした造園の芸術性を、広く訴え、県民のため豊かな環境づくりに貢献していきたい。

賀詞交歓会開催 新たな年の出発を祝う

橋本知事はじめ多数の来賓がご出席 みどり豊かな環境への期待語る



(社)茨城県造園建設業協会の平成 19 年新春賀詞交歓会は1月 10 日、水戸市のホテルレイクビュー水戸で開かれた。



開会の辞を述べる水庭副会長

水庭博同協会副会長の開会の辞に次いで、廣瀬一三会長が「景気回復の声が聞かれるが、地方においては未だ厳しい状況にある。しかし、こうした中でも、奥久慈の森の指定管理者となるなど、さまざまな工夫や提案を行っている。今後もこうした取り組みを続け、美しい県土づくりに取り組んでいきたい」とあいさつ。

雪吊は明治以降の造園技術

来賓から、橋本昌茨城県知事が「実感なき景気回復といわれ、県でも税収が900億円増となったが、交付税が2千億円減となり、地方には厳しい状況であり、家庭や地方にも景気回復が実感できる施策が求められる。しかし、茨城県では、



大塚輝一郎 茨城県土木部都市局長が乾杯を発声



廣瀬 一三 会長



橋本 昌 茨城県知事

TX沿線の開発や企業誘致などが進み、鹿嶋地域だけでも5、6社の誘致が予定されており、今年は京葉道、北関東自動車道の整備も進められ、景気が良くなってくるものと期待される。経済誌の「東洋経済」には東京や愛知を抜き、茨城の発展を1番にあげており、こうしたいい影響が造園界にも広がっていくことを期待している。都市環境の創造は今後ますます重要なものとなり、奥久慈でしっかりとした実績を上げ、協会、組合に頼めば安心というものにしてもらいたい。そのほか県では、いじめなどをはじめとした教育や医療など福祉問題に取り組んでいく、さまざまな分野で知恵を出し合いより良い茨城にしていきたい」と述べた。

岡田広参議院議員は、「会長のお話にもあった地方への景気回復は、我われの使命でもある。昨年の漢字は、命、二番目は悠であった。命は掛けがえのないもの尊いものであり、ゆったりした気持ちを持つことも、今の時代に必要なことである。一生懸命に働き、休むときにはゆったりと休む、そういう環境が求められている。華の都・パリといわれるが、パリは水の先進国でもあり、上水、中水、下水を使い分け、植物の灌水には中水を使うなど、華の都の背景には灌水の水にまで配慮する幅広い取り組みの結果でもある、こうした総合的な観点からの取り組みを進めていきたい」と述べた。

また、茨城県議会からは、海野透県議が、「行政の財

“森林環境税”の創設を推進 県民意識・財源UPを 環境保全は世界で一番大事な問題 その先頭で活躍を



岡田 広 参議院議員



海野 透 県議会議員



関 宗長 県議会議員



加藤 浩一 水戸市長

政事情は厳しく、行政に頼らなくてもやっていけるような企業体質が求められる。環境は大切であり、重要な役割を果たしている。お集まりの方々をみると若い人よりはご年配の方が多い。スピードの時代であり、時の経つのは早く、次世代を担う方々の育成も欠かせない。指定管理者については、土木はこれから本格化する。時代の要請を踏まえ、今後のご活躍に期待したい」と述べた。

関宗長県議は、「造園業の発展はもとより、茨城県の発展のために尽力されてこられたことにまず感謝を申し上げたい。現在、森林環境税の創設に取り組み、一人当たり約5百円で5～10億円の税収を緑を保全・創出するために使いたい。環境税については大方の理解は得られているが、単に税収を求めるものではなく、これによって県民意識が向上し、県民運動として広が

っていくことを願っている。環境を守ることは、県や国だけでなく、世界にとってもこれから一番大事な問題だ。皆さんには、その先頭に立って頑張っていただきたい」と述べた。

乾杯は、茨城県土木部都市局長が発声、祝杯を挙げ、途中、加藤浩一水戸市長が公務多様の中あいさつ。「水と緑は人が生きるために欠かせないもの。これからもご協力を」と述べた。

なお、懇談の中、モト直樹さんの演芸も披露され、長渕剛さんの歌真似を中心に会場を盛り上げ、飛田賢一副会長の閉会の辞で散会となった。



閉会の辞を述べる飛田副会長



祝宴では、モト直樹さんが長渕剛さんの歌真似などを披露した



飛田副会長の3本締めで、賀詞交歓会は閉会した

“造園業・生き残りのヒント”を学ぶ

都市環境プロデューサー・賀来宏和氏迎え講演会を開催



講演する賀来宏和氏

茨造協と、(社)日本造園建設業協会茨城県支部、茨城県庭園樹協会は3月9日、午後1時から、水戸市笠原町の茨城県開発公社ビル中会議室で、賀来宏和氏を講師に迎え講演会を開始した。

講演は、「造園業・生き残りのヒント～浜名湖花博などのアイデアから～」をテーマに行われ、建設省(現国土交通省)在職時に大阪花の万博を担当し、退官後は浜名湖花博をはじめ、各種イベントの計画、演出などを

手がけている都市環境プロデューサーで、グリーンダイナミクスグループ代表の賀来宏和氏が、ご自身の経験やこれまでの造園業界とのかかわり、さらに、花き園芸やイベントなどにおける幅広い取り組み、知見を踏まえ、右肩上がりだった公共事業が縮減される中、どのような視点で造園業を捉えるべきかなど、日頃の考えを述べた。



講演会のもよう

新しい花と緑の世界をつくりだす

『花から華へ』 賀来 宏和 著



主婦の友社発行(03-5280-7551)
四六判/215頁/1575円

ガーデニングブームは日本で初めての国際園芸博覧会「大阪花博」で起こったとされている。著者はその主催者側として、火付け役ともいえる賀来宏和氏。「浜名湖花博」のプロデューサーも務めている。本書は、浜名湖花博を改めて振り返りながら新しい花と緑の世界をつくり出そうとするものである。副題は「ガーデニングの未来を占う」。

まず1章で、ガーデニングブームをいかに日本人の心に根ざした園芸文化として定着させるかを問いかける。2～4章では浜名湖花博のパビリオンである、江戸の園芸文化を伝える「園芸文化館」や新しい庭を提案する「庭文化創造館」、より深い知識を得られる「百花園」などの狙いを振り返り、答えを導こうとする。5章ではヨーロッパの花と緑のイベントを参考に、愛好家の横断的な集いの場や最新の情報を発信する場の必要性を提案している。

美しい国は、私たちが育んでいかなければならない。花や緑を慈しむ心が文化として再び華やぐように著者の期待が込められている。



「青丘園」のようす



「ドルフィン」のようす

社会還元事業で“剪定”と“管理指導”実施

茨造協・特養老人ホーム「青丘園」「ドルフィン」で3月28日に実施

茨造協は3月28日、平成18年度の社会還元事業として、小美玉市橋美の特別養護老人ホーム「青丘園」と、常陸大宮市泉の特別養護老人ホーム「ドルフィン」の2箇所において、外構や園内樹木の剪定をはじめ、芝刈りなどの植栽管理と管理指導を行った。

茨造協の社会還元事業は、造園建設業の啓発、広報

を目的に、社会福祉施設等の植栽・立木にかかわる剪定などをボランティアで行い、環境管理に役立てるためのもので、平成14年度の茨造協創立30周年を記念して実施され、専門家だからこそできる各種作業について、各所から好評をいただき、その後継続的に実施している。

平成19年度 春季緑化祭まもなく開催 茨造協後援 開催準備に取り組み中

平成19年度春季都市緑化祭がゴールデンウィークに合わせて、4月下旬から県内各所の公園で開催される。

都市緑化祭は、都市緑化の大切さを楽しみながら感じられるよう、主催者である茨城県をはじめ、県内各市町村、国土交通省国営常陸海浜公園工事事務所、(財)公園緑地管理財団、筑西広域市町村圏事務組合、筑波都市整備株、(財)茨城県開発公社の共催と当協会の後援で毎年春と秋に開催しているもので、昨秋からは新たに鉾田町の「鹿島灘海浜公園」が会場に加わり9会場となった。

会場では、花の種や花苗、堆肥などの配布のほか、木の実などを使ったクラフトづくりなどの体験講座も人気で、特にガーデニングを体験できる「チャレンジガーデニング」やスワッグ・リース、コケ玉、竹の花鉢づくりなどに多くの人が参加。

開催を予定している会場は、洞峰公園、国営ひたち海浜公園、砂沼広域公園、千波公園、笠間芸術の森公園、港公園、県西総合公園、鹿島灘海浜公園、大子広域公園。



昨年の秋季都市緑化祭のようす

環境教育で「腐葉土づくり」花壇などに活用

茨造協・環境委員会 学校での堆肥所設置に協力 平成 18 年度 2 校で実施

茨造協は、平成 11 年に「緑のリサイクル委員会」を設置し、国土交通省、関東地方整備局常陸海浜公園事務所、(財)公園緑地管理財団、国営ひたち海浜公園管理センター、茨城県住宅供給公社からの業務委託として、自然堆肥化方式での植物発生材堆肥化試験を実施。堆肥化の有効性を示すことができた。

こうした経緯を踏まえ、茨造協はより幅広い視点から、環境問題への取り組みを図ろうと、同委員会を「環境委員会」に改称し、循環型社会の実現に向けて、造

園事業者としてどのようなアプローチができるかを検討してきた。

今回の「学校の堆肥所設置事業」は、環境教育とCO₂排出抑制対策の一環として実施。落ち葉は、ダイオキシン問題などから、野焼きが禁止され、高温焼却による完全燃焼処理も進められたが、CO₂固定の観点からは、焼却によらない資源としての活用方法が模索されていた。

また、教育機関では、総合学習が進められ、環境教



施工前



単管打ち込み



ヤード下部枠取り付け



外枠の取り付け



仕切り枠の取り付け



完成したヤード



背面のようす



右斜め前から



正面

育への取り組みも活発化する中、環境の大切さへの理解を深めるのは、小中学校での実体験が何よりこのことから、関係機関のご理解で、県北の茨城大学附属小学校と土浦市立新治中学校において、堆肥所を設置した。

このうち、新治中学校では、コンパネ（0.9×1.8m）を使い、高さ0.9m、幅1.8mの堆肥所（ヤード）を3ヵ所設置することとし、平成18年9月28日に制作完了。生徒の皆さんが校庭で集めた落ち葉をヤードに入れ、30cmごとに土を10cm敷き、水を掛け、均し積み上げた。

ヤードでは、温度などの状態を観察しながら、1年掛けて堆肥にする予定で、2ヵ月に1回程度の切り返

しや、土壌改良剤などを利用しながら、自然発酵での堆肥化を進めている。こうして作られた堆肥は、学校の花壇などで再利用する予定。

これまで焼却処分されていた落ち葉が、教職員の方々のご理解と、生徒の皆さんの協力で集められ、再び花壇などで利用されることになると、自然生態系に沿った循環となり、自然発酵であることから、カブトムシなどの幼虫などの成育の場になる可能性もあり、子どもたちにとっての新たな楽しみになる可能性も秘めている。

こうした広がりも、自然のつながり、生態系を体感できるきっかけになるものであり、初めての堆肥ができる今秋、さらに堆肥所設置校の広がりが期待される。



生徒の皆さんによる落ち葉集めと、ヤードへの積み込みのようす

ホームページを開設



ようこそ

- TOP
- 施設
- イベント
- 宿泊研修
- アクセス
- 施設利用ルール
- リンク
- メールを送る

002242



茨城県 奥久慈 憩いの森








茨城県 奥久慈 憩いの森

〒319-3511 茨城県久慈郡大子町大字高柴4164-3

管理事務所 TEL 0295-76-0002
(森林学習館内) FAX " 0015

指定管理者 茨城県造園業協同組合

直近イベント

今月の憩いの森

New 4月のイベント

自然体験ツアー

「奥久慈 憩いの森」のホームページ。アクセスは、
<http://www5.ocn.ne.jp/~ikoimori/>を入力するか、検索ページで「奥久慈 憩いの森」などのキーワードからのアクセスも可能。アクセスや宿泊研修施設の利用案内や施設紹介をはじめ、「イベント」(下)では、詳細なスケジュールも紹介する。

茨城県造園業協同組合は、大子町にある「奥久慈 憩いの森」の指定管理者として、さまざまな取り組みを行っている。

憩いの森は、昭和天皇・皇后両陛下をお迎えしての全国植樹祭の開催地であり、両陛下がお手植えされたスギとヤマザクラも立派に成長。茨城県は、植樹祭の前身を含めこれまでに4回植樹祭を開催するなど森と縁のある県ながら、全国で2番目に森林が少ない県。こうした中で、47haの広さを持つ憩いの森は、県民が森林に親しむ貴重な空間となっている。

研修に利用するための施設も充実し、「森林学習館」の利用は無料。「林業研修センター」「ログハウス」の宿泊はともに1,410円(小中690円)、7月から9月末までのキャンプサイトは590円とリーズナブルに利用できる。ぜひ、憩いの森をご利用ください。

年間イベント				直近イベント	今月の憩いの森	TOPへ戻る
平成19年度 奥久慈 憩いの森 自然体験ツアー予定表						
年	月	日	曜	プログラム	内 容	
4	14	土		森 林 学 習	早春の山の植物を観察しながら、四季の移ろいを感じ自然を満喫する。	
	12	土		定 例 探 鳥 会	新緑の緑の森で、野鳥のサエリを観よう。	
	19	日		モリモリ体験フェスティバル	緑の月間イベント	
	20	日		春の植物観察会	色々な花が咲き乱れています。自然観察指導員の話を聞ながら森と一体になろう。	
5	10	日		こどもエコ作り	コンキヤ粉を使用して、例年コンキヤを作ろう。	
	17	日		樹 木 観 望 会	木々の芽吹きも終わりました。気がつかないところで樹木の花がまだ残っているかもしれません。	
	15	土		定 例 探 鳥 会	夏鳥の声を聞きながら、森林浴を楽しもう。	
	22	日		森 野 性 探 検	山中を探検。昆虫つかまよう。カブトムシの幼虫も探してみよう。	
6	5	日		寄せ植えづくり	季節の花を使った寄せ植えを作ります。	
	19	日		夏の植物観察会	1年中一番つややかな緑が輝いています。樹木を観察しながら森林浴を楽しみましょう。	
	9	土		定 例 探 鳥 会	秋の自然の中を歩きながら野鳥の姿を観察します。	
	7	日		きのこ観察会	きのこの群生が広がります。毒きのこ、食べられるきのこを教えるのも楽しみです。	
7	21	日		秋の植物観察会	周囲の山々も色づき始めました。紅葉を楽しみ、木々の実などを探し集めましょう。	
	10	土		定 例 探 鳥 会	冬鳥の姿が見え始めました。観察しましょう。	
	18	日		晩秋の森を歩こう	落ち葉が踏み始めました。踏み始めながら歩きましょう。遠くに響きわたる山が聞こえるかも……	
	9	日		森に草花をかける	草花・野草を制作。特設に設置し、野鳥にプレゼントしよう。	
8	16	日		キノコの原木を切り出す	3月に、シイタケ・ナメコを植菌しました。	
	23	日		リース作り	用意した材料を利用して、小物やリースを作ります。	
	6	日		風 機 大 会	日本の風合会員の指導でみんなで製作、大空に飛ばそう。	
	12	土		定 例 探 鳥 会	冬鳥を見つけて野鳥と友達になろう。	
9	29	日		自然観察のあそびや作り	小枝で作る動物や昆虫のほか、木や枝葉、木の葉を使って、壁飾りなどを作ります。	
	17	日		切り絵教室	子供から大人まで簡単に切り絵ができます。しおり冊子を作ってみましょう。	
	8	土		定 例 探 鳥 会	早春の雑木林の野鳥を見よう。	
	16	日		キノコの植菌をしよう	秋に切り出した原木を玉切りし、シイタケ・ナメコを植菌します。	
年	月	日	曜	プログラム	内 容	

茨城県造園業協同組合

理事長 飛田 賢一 副理事長 川上 一夫 副理事長 庄司 憲生

外 組 合 員 一 同

事務局 水戸市白梅2-4-6 電話 029-302-7900 FAX 029-302-7901

茨城県緑化研修会に参加

茨城県土木部都市局公園街路課は3月20日、午後1時半から4時半まで、水戸市笠原町の茨城県市町村会館で「茨城県緑化研修会」を開催した。

研修会は、日頃から茨城県の緑化の推進に携わる関係者を対象に実施されたもので、多数の関係者が集まった。

当日は、お二方の講師がそれぞれ講演。いちょうの会会長、ハーブフローの会会長の結城直子氏は「ひとつながりの命」をテーマに、水戸市緑化推進会議委員長、偕楽園公園を愛する市民の会顧問の宮嶋敬夫氏は、「水戸藩のあれこれ」をテーマに講演した（下記記事参照）。

講演会には、茨造協からも多数の会員が参加し、有意義な講演を拝聴させていただいた。

偕楽園 10 年後に 500 種の梅 再び「日本一」目指す

偕楽園公園を愛する市民の会は、江戸時代に水戸藩主・徳川斉昭が築き、現在よりも広く 200 種 1 万本の梅で日本一を誇っていた「偕楽園」を再び取り戻そうと、偕楽園を中心とする偕楽園公園に、日本中の梅が見られる「平成梅林」を整備し、10 年後に 500 種の梅の花を咲かせようと活動を展開中だ。市民の会は昨年 3 月、市民や政財界の有志で発足。募金活動で得た資金をもとに、今年は 100 種の苗を購入し苗圃に植樹する予定。県も苗圃をはじめ用地提供などを支援し、協働の梅園づくりが進められている。募金は法人 1 口 1 万円（個人 2 千円）。

編集後記 「色鮮やかな春の季節到来」

偕楽園とその南側田鶴鳴梅林の 4000 本の梅が、茨城のかぐわしい早春を告げてくれます。また、開花に合わせて行われる「梅まつり」には、多くの来園者が訪れ、その賑わいが、色鮮やかな春にさらに賑わいを加えてくれます。そして、梅に続いて、桜、つつじの季節を迎え、季節は刻々と変化し、四季折々の変化を見せてくれ、どの季節も素敵ですが、色鮮やかな春の季節は、四季の中でも特別な気がします。

今年の春は、ひときわ大きな大輪が再び花開きました。中心部の淡いオレンジから外輪に向けて黄色、白に変化する見事な花で、その高さは 65m！ 240 人が乗れる大きなものです？ 名前は、「プリンセスフラワー」で、3 月 17 日にリニューアルオープンした国営常陸海浜公園の大観覧車です。花びらならぬ外輪部に設置された 40 枚（台）のゴンドラは、6 人乗りで、なんと冷暖房付き。一周約 12 分で、海拔 100m からの眺めは格別で、天気の良い日には富士山も眺められるとのこと。

プリンセスフラワーの名前は、公園内に植えられている秋篠宮妃紀子殿下のお名前をいただいたスイセン「プリンセス・キコ」直系の子孫が公園内ワイルドバルブガーデンに植えられていることから名づけられ、大観覧車のカラーリングはスイセンの花色にちなんでのものとなっています。今年初めてお目見えする「プリンセス・キコ」をはじめ、これらのスイセンの見ごろに合わせた「スイセンファンタジー2007」は 3 月 21 日から 4 月 15 日に開催。545 品種 100 万本のスイセンは暖冬の影響で、例年より早く色鮮やかに園内を彩っていることと思います。

ひたち海浜公園では、大観覧車をはじめ、プレジャーガーデンのリニューアルオープンで、メリーゴーランド、ガーデントレインも装いを新たに利用再開。偕楽園の梅、桜、つつじへのリレーに負けず、花々もスイセン、チューリップ、ネモフィラへと春の花のバトンタッチが続きます。

色鮮やかな春に季節の到来は、冬があるからこそ、ひときわ眩しいのでしょうか。“異常気象”のせいか、長く冬が続いている造園業界ですが、訪れる春はきっと眩しいに違いないと心待ちにしています。

社団法人 茨城県造園建設業協会 会員名簿

＜県北支部＞			支部長 猪瀬 清次			鹿島花壇土木株			神栖市柳川 1707			0479-46-0044
有会沢造園			水戸市渡里町 2526	029-225-0067		鹿島庭園株			鹿嶋市宮中 1992-1			0299-82-2045
株市毛造園			ひたちなか市馬渡 1285-5	029-272-1334		株水郷園建設			行方市四鹿 207-1			0299-73-2006
岩倉緑化産業株			笠間市福原トウガ峰 800-3	0296-74-4468		株辻田造園建設			鹿嶋市下塙 886-3			0299-82-9097
株植幸			水戸市元石川町 611-230	029-248-2351		株富山園建設			鹿嶋市大船津 2223			0299-82-0516
株植正園			水戸市常磐町 1-1-40	029-224-8766		日比谷殖産株			神栖市田畑 438-48			0299-93-1271 (代)
株海野ガーデン			ひたちなか市中根 5072	029-273-6013		株ミドリヤ			鉾田市大蔵 233-5			0291-39-6088
有エバタ造園			水戸市上国井町 1594	029-239-6322		山中造園土木株			神栖市筒井 1373-1			0299-92-0251
株大平造園土木			笠間市鯉淵 6241-42	0296-77-3021		豊造園株			神栖市筒井 1213			0299-92-2566
株小田緑地建設			水戸市見川町字釜場 2530-5	029-305-1234		株和鹿松園建設			神栖市太田 456-15			0479-46-0033
株鹿志村造園			常陸太田市島町 2566-2	0294-72-2576		＜県南支部＞			支部長 宮本 和雄			
株神永造園			ひたちなか市足崎 1287	029-285-0246		株浅野造園土木			つくば市作谷 2715			029-869-1118 (代)
株嶋志田造園建設			水戸市青柳町 3814-2	029-225-6052		株市川造園			つくば市今鹿島 103			029-847-2554
環境保全事業株			那珂郡東海村村松 1033-1	029-282-8855		茨城県県南造園土木協業組合			土浦市田中 3-2-1			029-822-3771
株郡司造園			水戸市双葉台 5-783-7	029-251-2822		株茨城光松園			取手市桑原 597			0297-73-2231
興和緑地建設株			水戸市白梅 1-3-23 興和ビル	029-225-6187		株浮間興業			つくば市片田 343			029-837-1603 (代)
株小澤造園			水戸市上水戸 1-4-38	029-224-7733		オガ建設株			土浦市乙戸南 3-8-13			029-830-4300
株小林造園			水戸市小吹町 2054-2	029-241-7587		株オキヤマ			つくば市要 109			029-864-0444
有小林農園			日立市折笠町 719	0294-43-5193		株貝沢造園土木			つくば市谷田部 3524-2			029-837-0222
株三陽造園土木			東茨城郡城里町小勝 718-2	0296-70-6061		有樫村造園土木			石岡市若宮 2-6-15			0299-22-6867
株信濃造園土木			ひたちなか市西大島 1-1-30	029-273-2756		株川上農場			つくばみらい市小張 4041			0297-58-6518
有十文字造園			ひたちなか市佐和 1468	029-285-0879		菊地植木建設株			取手市桑原 1104			0297-73-3241
常磐開発株茨城支店			北茨城市磯原町磯原 1-240	0293-42-0168		株近代造園さくらい			取手市井野台 1-4-7			0297-73-4187 (代)
株松風園			たちなか市長砂 625-2	029-285-3210		小林造園土木(有)			石岡市小幡 295-1			0299-42-3313
昭和造園土木株			笠間市笠間 4358-2	0296-72-5104		株坂田園芸			土浦市上坂田 610			029-862-2431
有植心園			那珂市大字本米崎 2702	029-298-1498		株芝良			つくば市作谷 3438-7			029-869-0311
有鈴木グリーン企画			水戸市小吹町 1555-9	029-244-2700		スズキ造園土木株			つくば市寺具 1011-1			029-869-0500
有鈴木緑化サービス			水戸市萱場町 747-2	029-253-3910		第一造園土木株			土浦市大岩田 534			029-821-3708 (代)
株砂押園芸			ひたちなか市高野 48	029-285-0233		大成造園土木株			土浦市西並木 3600			029-822-2311
有成樹園			水戸市平須町 1846	029-241-0238		株チュウブ関東支店			つくば市長高野 1090-4			029-864-3341
株石翠園			水戸市平須町 2-97	029-241-0404		株千代田			かすみがうら市横堀 287			0299-59-4068
株千本杉			那珂市菅谷 605-21	029-298-0575		つくば都市緑化株			つくば市下別府 489-81			029-847-6439
株大京園			水戸市姫子 1-41-1	029-253-0615		土浦造園株			土浦市佐野子 1061-1			029-821-3585 (代)
株大子造園土木			久慈郡大子町矢田 910-1	0295-72-0001		遠野緑地建設株			つくば市東光台 1-19-4			029-847-5282
株田寺緑地土木			水戸市吉沼町 965	029-227-3388		常盤造園建設株			取手市駒場 4-5-22			0297-73-0551
株田中造園土木			笠間市箱田 1167-1	0296-72-1027		株トヨシマ総合建設			つくば市上横場 2157-1			029-836-5959
株タナカ築庭			水戸市石川町 2-4074-8	029-253-4128		株直井造園土木			つくばみらい市日川 571			0297-52-2600
有照山造園			ひたちなか市高場 2229-1	029-272-6779		株野堀造園土木			つくば市遠東 254-1			029-847-3678
常磐造園株			水戸市酒門町 3218-1	029-248-0081		橋本造園土木株			つくば市大角豆 2012-36			029-851-2547
株都市緑地サービス			ひたちなか市中根 3646-6	029-273-7662		ヒタチ緑化株			つくばみらい市筒戸 103			0297-52-3251
株那珂グリーン			那珂市杉 590	029-298-1376		不二造園土木株			土浦市佐野子 655			029-821-5438
株中庭造園土木			那珂市横堀 660	029-298-3291		有モリタグリーン工業			牛久市牛久町 3318-8			029-872-0336
日和サービス株			日立市東成沢町 2-2-10	0294-38-1121		吉沼造園土木株			つくば市吉沼 2000			029-865-0177
株日本造園			水戸市見川 5-1251-63	029-229-8840		緑化植産株			つくば市若栗 913			029-876-0040
株沼田緑化園			水戸市笠原町 1691-2	029-243-0123		＜県西支部＞			支部長 山口 喜弘			
株橋本農園			那珂郡東海村豊岡 466	029-282-2388		(有)アイタ			下妻市半谷 430-42			0296-44-5296
(資)幡弁商店緑化部			小美玉市小川 1488	0299-58-2002 (代)		有飯村造園土木			筑川市小川 1724-1			0296-28-0008
飛竜造園株			那珂市堤 302	029-298-7945		稲芝造園建設株			筑西市新治 2003-88			0296-57-2045
株水庭農園			日立市本宮町 5-8-6	0294-24-3228		株岩井造園土木			板東市大口 2052-1			0297-39-2547
株水戸グリーンサービス			水戸市堀町 959	029-225-2754		株川上造園土木			古河市東山田 1924			0280-78-1312
水戸緑地建設株			水戸市元吉田町 1852-86	029-248-8700		株寛和			筑西市藤ヶ谷 1766-58			0296-37-2556
株宮嶋造園土木			東茨城郡茨城町小幡 68-56	029-292-5787		有小竹農園			下妻市五箇 201			0296-43-4622
有望月造園			東茨城郡茨城町大字駒場 1802	029-292-2752		株下館造園			筑西市玉戸 1013-39			0296-28-0069
有山喜園			高萩市下手網 1485	0293-23-6935		常緑工業株			常総市中妻町 5192			0297-22-7106
株吉沢緑化造園			日立市水木町 2-21-12	0294-52-0712		株成美造園			常総市豊岡町乙 1234-18			0297-27-2281
緑地企画株			水戸市平須町字原山 158-187	029-243-7700		株関城造園			筑西市関本肥土 362			0296-37-3195
株緑建			水戸市堀町 112-3	029-254-8441		塚田造園建設株			桜川市真壁町源法寺 704			0296-55-1587
株和香園			ひたちなか市佐和 1735	029-285-0306		つくばクリーン産業株			下妻市北大宝 257-1			0296-44-2004
＜鹿行支部＞			支部長 辻田 正一			中嶋産業株			結城市小田林 1424			0296-32-8282 (代)
安藤造園株			神栖市矢田部 5806	0479-48-0059		有中田造園			下妻市北大宝 460-2			0296-44-5432
株大賀志造園土木			神栖市石神 439	0299-92-1695		有中山造園土木			板東市辺田 955			0297-35-0644
大塚造園建設株			神栖市筒井 1262-2	0299-92-0530		山口造園株			筑西市倉持 629			0296-52-2350
大根造園土木			神栖市土合西 2-1-8	0479-48-3678		有吉原グリーン			下妻市高道祖 2635			0296-43-7122
株鹿島ガーデン			鹿嶋市宮中 6-6-9	0299-83-3111 (代)		株ワイエスケイ			筑西市乙 836			0296-25-0005